

(仮称) 室蘭市総合体育館の整備について

1. これまでの経過

当市のスポーツ施設について、それぞれ老朽化など課題を抱えており、現在スポーツ施設全体のあり方について検討作業を進めているところです。

このうち「(仮称) 室蘭市総合体育館」については、平成 27 年度に基本計画を策定し、中島公園内に整備を予定しておりましたが、「立地適正化計画骨子 (案)」の考え方などを踏まえ、入江運動公園内も含め検討してきました。

2. 建設予定地について

・「入江運動公園内 (現芝生広場)」



《主な理由 (利点)》

① 駐車場について

・中島公園では、敷地面積などの制限から大規模イベントに対応する駐車スペースの確保に課題がありましたが、入江運動公園では、既存駐車場の共用や公園内での駐車場の拡張により、平時や市内大会の利用での駐車スペースが確保でき、また大規模大会時には港湾施設など周辺駐車場の活用等により、イベントに対応し得る十分な駐車スペースの確保が可能である。

② サービス・維持管理運営について

・体育施設が集積する入江運動公園内に整備することで、施設間の連携による利便性向上につながり、また業務・人員配置の効率化が期待できる。

③ 財源確保について

・「立地適正化計画骨子 (案)」のまちづくり方針と合わせた入江運動公園へのスポーツ機能の集約・強化を行うことにより、新たな財源活用の可能性が見込まれ、事業の早期実現に向けて期待できる。

3. 新体育館の整備内容について

① 整備内容とスケジュール

- ・原則として、「(仮称) 室蘭市総合体育館基本計画 (H27 年度)」に基づく整備を行う。
- ・新体育館については今後、整備についての準備を進め、2020年度の着工を予定。

4. 関連事業について

新体育館の整備事業に併せて、次の2事業を予定しており、現在関係団体と協議中。

①サッカー場機能集約化事業

主にサッカー競技場として活用されている入江運動公園「芝生広場（新体育館建設予定地）」及び「多目的運動広場」を廃止し、「サッカー場機能」を「祝津グラウンド」に集約する。「祝津グラウンド」については、サッカーコート総数の減少に対応するために人工芝化など必要な整備を行う。

②テニスコート集約化事業

入江運動公園「多目的運動広場」跡地に、現在、市内3箇所（祝津4面、高砂9面、だんパラ4面）に点在しているテニスコートを廃止・集約する。（17面→12面）